

第78回国民スポーツ大会バドミントン競技北海道予選会
兼 令和6年度北海道体育大会バドミントン競技会

開 催 要 項

1. 主 催 (公財)日本スポーツ協会、(公財)北海道スポーツ協会
2. 主 管 北海道バドミントン協会、函館地区バドミントン協会
3. 後 援 スポーツ庁、北海道、函館市、北海道教育委員会、函館市教育委員会、
特定非営利活動法人函館市スポーツ協会
4. 期 日 令和6年5月9日(木)～12日(日)
5. 会 場 函館アリーナ(〒042-0932 函館市湯川町1丁目32-1 Tel.0138-57-3141)
6. 種 目 少年男女ダブルス・シングルス、成年男女ダブルス・シングルス 計8種目
7. 競技日程 5月9日(木) 公式練習 9:30～13:30
開会式 13:50(予定)
競技開始 14:30(予定) 少年男女複(1回戦)
5月10日(金) 競技開始 9:10 少年男女複、成年男女複、
成年男子単(1回戦)
5月11日(土) 競技開始 9:10 少年男女単、成年男子単・複、
成年女子単
5月12日(日) 競技開始 9:00 少年男女単、成年男女単
8. 競技規則 令和6年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規程による。
9. 競技方法 各種目ともトーナメント方式とし、3位決定戦を行う。
10. 使用用器具 (公財)日本バドミントン協会・審査合格用器具及び令和6年度第1種検定合格水鳥球を使用する。
11. 参加資格 (1)日本国籍を有する者で、国民スポーツ大会に参加する意志があること。但し、次の者については、日本国籍を有しない者についても参加できる。
 - ①在留資格が永住者である者。
 - ②学校教育法第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、在留資格が就学生、家族滞在については大会実施要項が定める申し込み締め切り時に1年以上在籍していること。在留資格が留学生の場合は参加できない。(2)北海道に令和6年4月30日以前から引き続き居住、勤務又は通学(大学生は除く)している者。但し、次の者はこの限りではない。
 - ①成年の選手が属する都道府県として「ふるさと」を選択する場合。
 - ②少年の選手が「一家転住」した場合。(3)第77回または特別大会(都道府県大会およびブロック大会を含む)において監督または選手として他の都府県から出場した者は、次の場合を除いて出場することができない。
 - ①令和5年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者。
 - ②結婚または離婚に関わる者。
 - ③ふるさと選手制度を活用する成年選手。
 - ④一家転住に関わる少年選手。(4)令和6年度北海道バドミントン協会会員で地区負担金を納入した地区協会に所属し、下記の条件に該当する者。
 - ①北海道バドミントン協会推薦者、又は各地区協会推薦者。
 - ②少年種目に参加する者は平成18年4月2日以降に生まれた者。但し、中学生以下の生徒及び児童は参加できない。(強化委員会が推薦する中学3年生は除く)
 - ③成年種目に参加する者は平成18年4月1日以前に生まれた者。(5)成年種目に参加する者は、参加数制限はないが、少年種目については次表の割当数と記載の推薦選手とする。但し、割当数に棄権があった場合は主管協会が補充できる。

地区 協会名	函 館	室 蘭	苫 小 牧	小 樽	札 幌	南 空 知	北 空 知	旭 川	名 寄	北 見	十 勝	釧 根	開 催 地	計
割当数	5	3	3	3	8	3	3	5	3	3	5	4	1	49

《少年種目推薦選手》*複では下記推薦選手でのペアの変更を認める。

男子ダブルス 川田 光太③・中塩 爽太③(旭川実業)、田部 時生③・佐々木 一成②(帯広大谷)

三本木 蓮③・今野 隼稀③(帯広大谷)、小川 颯菜②・川上 諺道②(帯広大谷)

廣瀬 優希③・津川 祐太③(北海)、佐藤 楓起③・菅原 陸翔③(札幌龍谷)

高津 翔太③・山岸 秀悠③(札幌北斗)、山元 陽流③・住尾 遥知②(札幌龍谷学園)

女子ダブルス 中島 優衣奈③・井上 紗彩③(旭川商業)、藤川 千愛②・山本 希乃花②(旭川商業)

小國 二葉③・本田 理央奈③(旭川商業)、下田 夢香②・宮崎 苑嘉②(旭川商業)

齋 優涙③・原田 夏帆③(とわの森三愛)、川島 みなみ③・田口 若菜③(北星学園女子)

狩野 和奏③・平井 咲香③(遺愛女子)、藤代 咲空③・中川 千咲音③(とわの森三愛)

男子シングルス 中塩 爽太③(旭川実業)、川田 光太③(旭川実業)、小川 颯菜②(帯広大谷)、住吉 鉄平②(旭川実業)

佐藤 楓起③(札幌龍谷学園)、山岸 秀悠③(札幌北斗)、津川 祐太③(北海)、菅原 陸翔③(札幌龍谷学園)

女子シングルス 石原 綾弓③(帯広大谷)、杉野 冬花②(旭川実業)、山本 希乃花②(旭川商業)、井上 紗彩③(旭川商業)

齋 優涙③(とわの森三愛)、中川 千咲音③(とわの森三愛)、江川 舞星②(札幌北斗)、片岡 陽愛③(北星学園女子)

12. 参加料

少年一人1種目 3,000円、成年一人1種目 3,500円

道スポーツ協会国スポ納入金 2,000円、傷害保険料 1,000円(道スポーツ協会に納入)

13. 申込締切日

令和6年4月24日(水)必着のこと。

14. 申込方法

所定の参加申込書に必要事項を記入し、各協会で一括し、下記大会事務局にデータと郵送で申し込むこと。また、参加料も各協会一括し、下記口座に振り込むこと。

(申込先) 〒040-0002 北海道函館市柳町14番23号

函館大妻高等学校内 大会事務局 米林 伸晃 (宛)

(TEL 0138-52-1890 FAX 0138-52-1892)

(e-mail: hakodate@hokkaido-badminton.com)

(参加料振込先) 北洋銀行 函館中央支店

口座名 函館地区バドミントン協会 会計 浅川 健一

店番号 321 (普通) 口座番号 3303730

15. 組合せ

令和6年4月27日(土)13:00から札幌市産業振興センターにおいて関係者立合いの上、大会レフェリー(競技役員長)・北海道バドミントン協会競技委員がシード法により行う。

16. 表彰

各種目とも第3位まで表彰する。

17. 宿泊

本大会は宿泊の斡旋はありません。

18. 備考

(1) 北海道バドミントン協会「国スポ選考基準」により、国スポ北海道選手を決定する。

(2) 全国大会は、令和6年10月5日(土)~8日(火)佐賀県唐津市で行われる。

(3) 選手は、大会運営規程第23条により、色付き着衣の場合は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、背面表示を義務づける。その他の表示については第24条の範囲内とする。

(4) ステンシルマークについては、国民スポーツ大会の規定に準じる。

(5) 敗者審判制(主審および線審2名)とします。ご協力をお願いします。

〔少年の試合の場合〕

●主審は監督(顧問)、線審は敗者選手とします。ただし、事情により主審を担当できない場合は、開催地一般または準3級資格保有開催地高校生(2回戦迄)で補充(担当)します。線審が不足する場合は、開催地補助生徒で補充(担当)します。

〔成年の試合の場合〕

●主審は敗者選手、線審はそのチームで担当願います。ただし、事情により主審を担当できない場合は、開催地一般で補充(担当)します。線審が不足する場合は、開催地補助生徒で補充(担当)します。

(6) 9日の公式練習は9:30からの予定です。(別紙公式練習コート割当参照)

(7) 大会期間中のアリーナ開館時間は8:00です。

(8) 参加申込書に記載された個人情報、本大会の運営目的に利用し、それ以外の目的に利用することはありません。

(9) 駐車場は有料です。また、駐車台数に限りがありますのでご注意ください。

※マイクロバス・大型バスで来場する場合は、事前の許可が必要となります。上記事務局に6日までご連絡ください。

(5) 敗者審判制（主審および線審2名）とします。ご協力をお願いします。

〔少年の試合の場合〕

- 主審は監督（顧問）、線審は敗者選手とします。ただし、事情により主審を担当できない場合は、開催地一般または準3級資格保有開催地高校生（2回戦迄）で補充（担当）します。線審が不足する場合は、開催地補助生徒で補充（担当）します。

〔成年の試合の場合〕

- 主審は敗者選手、線審はそのチームで担当願います。ただし、事情により主審を担当できない場合は、開催地一般で補充（担当）します。線審が不足する場合は、開催地補助生徒で補充（担当）します。

(6) 9日の公式練習は9：30からの予定です。（別紙公式練習コート割当参照）

(7) 大会期間中のアリーナ開館時間は8：00です。

(8) 参加申込書に記載された個人情報、本大会の運営目的に利用し、それ以外の目的に利用することはありません。

(9) 駐車場は有料です。また、駐車台数に限りがありますのでご注意ください。

※マイクロバス・大型バスで来場する場合は、事前の許可が必要となります。上記事務局に6日までご連絡ください。



公益財団法人JKA <http://keirin.jp/>

この事業は、競輪の補助金を受けて実施します。
競輪補助事業 <http://ringring-keirin.jp/>



国民スポーツ大会 選手選考基準（令和6年度版）

北海道バドミントン協会
選手強化委員会

【成年男女選考基準】

1. 「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の対象選手のうち、当該年の3月末時点での国内ランキング上位10位以内の者が、同年4月末までに本大会への参加意思を表明した場合は、特例措置を適用し選考対象者とする。
2. 北海道出身選手として実績を持つ選手が、日本バドミントン協会の主催事業もしくは国際大会など上位の事業参加により北海道予選会に参加できない場合は、当該年の4月末までに本大会への参加意思を表明した場合は、選考対象者とする。
3. 国民スポーツ大会北海道予選会において、シングルス及びダブルスの各3位までの選手を選考対象者とし、前2項の対象者とともにより下記大会の成績も参考に北海道協会強化委員会で審議・選出し、北海道協会選手選考委員会で決定する。
なお、選出にあたっては代表決定戦を行う場合もある。
代表決定戦は、北海道で開催し、参加にあたっての旅費は自己負担とする。

■参考大会

- ①全国大会規模：日本ランキングサーキット
- ②その他：北海道社会人選手権大会、北海道選手権大会、各県等学生選手権大会、各ブロック大会（総合予選等）

【少年男女選考基準】

1. 国民スポーツ大会北海道予選会におけるシングルス1位とダブルス1位の3名を基本とし、シングルス1位とダブルス1位が重複する場合は、重複していないシングルス上位者から選考する。
2. 前項1のダブルス1位については、ペアのどちらかが北海道予選会のシングルスにおいて5位以上とする。
3. 上記基準により選考された選手から辞退者が出た場合、もしくはダブルス1位が上記基準を満たしていない場合、ダブルス及びシングルの総合力を基に北海道バドミントン協会選手強化委員会で審議・選考し、北海道バドミントン協会選手選考委員会で決定する。

■国民スポーツ大会北海道予選会で内定した選手のうち、少年男女の入れ替わり条件

（①と②の両方が条件）

- ①6月の北海道高体連（インターハイ北海道予選会）において南北決勝で負ける。
- ②全国高体連（インターハイ本選）で国民スポーツ大会の内定選手に勝った選手がベスト8に入賞する。